



Basic &amp; New

3-133EAD-00-02

日本ペイント株式会社  
製品使用説明書ハイボン20ファイン  
弱溶剤形変性エポキシ樹脂 下塗り塗料

規格表示

JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー（変性エポキシ樹脂プライマーおよび弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー） 弱溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー

特長

- JIS K5551 構造物用さび止めペイント C種 1号 2号
- 塗料用シンナーで希釈でき、塗装作業性にすぐれます。
- 弱溶剤を使用しているため旧塗膜および素材を起こしたり、痛めることがほとんどありません。
- 防錆性がよく、補修用・塗り替え用に最適です。

塗料性状

		塗料液	硬化剤			
色		グレー、ブラウン、ミルクホワイト	無色乃至淡黄色			
密度(g/cm <sup>3</sup> )(23℃)		1.34(グレー混合塗料)1.42(グレー塗料液)0.91(硬化剤)				
光沢						
引火点		34	38			
発火点		288(参考値)	454(参考値)			
消防法表示	化学名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料			
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)	第4類 第2石油類(非水溶性)			
	危険物等級	III(火気厳禁)	III(火気厳禁)			
有機溶剤区分		第3種	第3種			
毒劇物表示						
有害物表示		エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン			
ホルムアルデヒド	登録(認証)番号	N02164				
	区分表示	F				
放散等級		http://www.toryo.or.jp/				
国連/指針番号		1263/128	1866/128			
環境性能	クロルリブ	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	1.4%	パラジクロロベンゼン	配合せず	イソクロロベンゼン	0.8%
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テレフタル酸	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアジン	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノール	配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		29%				

- 塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- 加熱残分(%)：70(グレー混合塗料)74(グレー塗料液)29(硬化剤)

塗装基準  
下地調整：

- プラスト処理後、ジンクリッチプライマー(ニッペジンキー8000メタルグレーまたはニッペジンキー1000Pなど)を塗装した上に塗装することができます。
- ジンクリッチの損傷箇所・溶接部分等について2種ケレン(ISO St3)のケレンを行えば直接補修用として使用できます。
- 塗り替え時の素地調整は発錆部・劣化部は2種ケレンを、活膜部はサンドペーパー等で表面調整を行ってください。
- 2液形のため、「塗料液：硬化剤=9：1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- 20kgセット(塗料液：硬化剤=18kg：2kg)、5kgセット(塗料液：硬化剤=4.5kg：0.5kg)
- 6時間(23℃)
- 塗料用シンナー-A、塗料用シンナー-SA

混合：  
荷姿：  
ポットライフ：  
希釈剤：  
塗装方法：

塗装方法	はけ、ローラー塗り	エアレススプレー塗り
希釈率	0~10%	0~5%
使用量	0.20kg/m <sup>2</sup> /回	0.38kg/m <sup>2</sup> /回
膜厚(ドライ)	50μm	80μm
膜厚(ウェット)	105μm	165μm

- 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- 一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-617、619など

エアレス条件：  
乾燥時間：

	5	23	30
指触乾燥	3時間	2時間	90分
半硬化乾燥	6時間	4時間	3時間
塗り重ね乾燥1 H <sub>2</sub> O20ファイン H <sub>2</sub> O30ファイン中塗	20時間以上1ヶ月以内	16時間以上1ヶ月以内	16時間以上1ヶ月以内
塗り重ね乾燥2 H <sub>2</sub> O50ファイン	20時間以上10日以内	16時間以上10日以内	16時間以上10日以内

- 乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 注意事項

- ・かくはん時、高粘度ですが、作業に支障ありませんので、希釈は必ず10%以内(エアレス塗装時は5%以内)を守ってください。
- ・洗い溶剤はラッカーシンナーを使用してください。
- ・希釈時、シンナーをいれるとシンナーが浮いた状態になりますが、これは特殊樹脂によるものであり、問題ありませんのでそのままかくはんしてください。
- ・乾燥は低温時において著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので5 以下の気温が連続する場合、施工しないでください。
- ・強溶剤エポキシ樹脂塗料(ピュアエポキシ・変性エポキシ)の塗り重ねは、避けてください。
- ・没水部などへの適用は避けてください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。  
製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。